

第1回 歌にあわせて摘みました！ 茶摘み・製茶体験

月 日：令和6年5月16日（木）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 4年生 33名

4年生児童33名で茶摘み・製茶体験しました。最初に、農場で三重大学の先生から、「先端から新芽のついた3枚目までの葉を摘むといいよ。これを『一芯三葉』というよ」と教わりました。摘んだ茶葉は、学校に持ち帰り調理室で電子レンジを使ってお茶を作り、試飲しました。



（三重大学の先生のお話） 虫に食べられてないきれいな葉っぱを選ぶといいよ。



（三重大学の先生のお話）

摘んだ茶葉を揉むときは、1回目は強くつぶすような感じで、2回目は優しく揉むといいよ。



（子どもたちの声）

- ・茶葉を揉みこんだり、電子レンジで蒸したり乾燥させたりするのが大変だったけど、みんなでおいしく飲めたことがとても嬉しかった。
- ・お茶を作るのにたくさんの時間がかかっていることがわかったので、これからお茶を大切に飲もうと思いました。

～先生の感想～

子どもたちが、三重大学の先生の話を一生涯懸命に聞き、きれいな一芯三葉を探し回りながら、「♪夏も近づく八十八夜～」と歌いながらはりきって摘んでいる姿がとても印象的でした。（4年生担任）

